



小川中だより "燦々"

自主性
感性
敬愛

No. 28 平成30年12月7日(金)発行 文責：いわき市立小川中学校長 津田 直人

<ハンドボール部、1年生大会で優勝>

11月から12月にかけては、各部で1年生大会が開催されています。11月23日(金)には野球部で、11月25日(日)にはソフトテニス部で1年生大会が開催され、本校でも出場しました。12月2日(日)に行われたハンドボール部の1年生大会では、予選リーグを2勝1分けの1位で通過し、1・2位決定戦でも勝利し、見事、優勝を果たしました。

これから寒さが厳しい時期となり、基礎的な練習も増えてくると思います。しかし、県内の他地域と比べると、いわきは天候に恵まれた地域と言えます。冬でも比較的温暖であること、降雪がほとんどなく校庭が使用できることなどです。県北や会津では、一度降雪があると、校庭はほとんど使用できません。また、寒さも厳しく、真冬日(一日中、気温が氷点下の日)もあります。自ずと基礎練習が多くなりますが、その分、体力や筋力がアップします。いわきはいわきのよさを十分活用しながら、体力・筋力アップに取り組むことも大事です。

<門松づくりのボランティア活動に参加>

12月2日(日)の9時から、小川郷の会による門松づくりが小川郷駅前で行われ、本校生徒12名(2年生2名、3年生10名)がボランティアとして参加しました。駅前に飾る門松の他、学校に飾る門松を作成しました。また、駅に向かって右手の樹木に電飾を取り付けました。電飾はすでに点灯しています。



12月に入り、いわき駅前の木々もライトアップされました。テレビのコマーシャルや新聞広告などでも、クリスマスや年賀状、おせちの話題が多くなりました。日本中で一年の締めくくりに向けて動いていることを感じます。

<門松づくりの様子> ※12月7日(金)の新聞にも掲載されました。



<漢字検定合格者、21名>

11月2日(金)、小川中学校を会場に行われた漢字検定試験の結果が返ってきました。その内訳とそれぞれの級のレベルは次のとおりです。

- 2級 3年生1名→高校卒業・大学・一般程度(2136字)
※常用漢字がすべて読み書き活用できる。
- 準2級 3年生1名→高校在学程度(1940字)
- 3級 3年生9名、2年生3名→中学校卒業程度(1607字)
- 4級 3年生1名、2年生2名→中学校在学程度(1322字)
1年生1名
- 5級 1年生3名→小学校6年生修了程度(1006字)

<2級の問題例>

- 読み 苦汁、漸次、因る、絞る
腫れる
- 書き 上役にツイショウする
ベンギを図る
勇気がワク
秋のフゼイ

中学生で2級合格は、大変素晴らしいことです。また、5級は中学生全員が合格を目指してもよいレベルです。受験した人から話を聞くなどして、是非、積極的に挑戦してほしいと思います。

<3年生、いよいよ入試本番>

先週から今週にかけて、私立高校の出願がありました。11月27日（火）に磐城緑蔭高校、12月3日（月）に磐城第一高校、12月6日（木）にいわき秀英高校の出願がありました。12月8日（土）には、磐城緑蔭高校で受験となります。

いよいよ入試本番となりました。受験に際して最も大切なことは、万全な体調で当日を迎え、持てる力を存分に発揮することです。そのためには、風邪や感染症の予防をしっかりと行ったり、最低限必要な睡眠時間を確保したりするなど、体調管理を十分に行うことです。また、受験当日を想定した生活習慣にしておくことです。具体的には朝方の生活（早寝早起）にすることです。脳が十分に活動するためには、起床から3時間は必要と言われています。また、エネルギー源となる朝食の摂取も欠かせません。学習することはもちろんですが、生活面にも目を向けることが大事です。

<アンサンブルコンテストが開催>

12月8日（土）、いわきアリオスにおいて、アンサンブルコンテストいわき支部大会が開催されます。これには本校吹奏楽部から3組が参加します。緊張すると思いますが、何事も経験が大事だと思います。今までの練習の成果を存分に発揮して、演奏を楽しんでほしいと思います。※演奏時間帯は14:20～15:00頃

参加チーム 管打7重奏2年生7名、管打6重奏A1年生6名、管打6重奏B1年生6名

<今週は大雪（たいせつ）>

本日12月7日は、二十四節気のひとつである「大雪」にあたります（「大雪」から冬至までの期間をさすこともあります）。「大雪」とは、平野部でも雪が降る時期という意味で使われることになったようです。本格的に雪が降り始める頃で、各地でスキー場がオープンしたり、熊が冬眠に入ったりします。また、九州地方でも初氷が張るなど、全国的に冬一色になり、鱒（ぶり）などの冬魚の漁も盛んになります。

福島県内でも、磐梯山、安達太良山、吾妻山などの山頂では、雪景色が見られます。中通りや会津などの降雪が多い地域では、この「大雪」を前に、スタッドレスタイヤへの交換などの冬支度を始めますが、今週は季節外れの暖かさになりました。

<二十四節気>

二十四節気とは、季節の変化を知るために、地球が太陽をまわる1年を24に区分して、「春分」「秋分」などの季節を表す言葉をつけたものです。かつての農村では、この二十四節気を基準にして、種まきや収穫などを行ってきました。より細かく四季の移ろいを感じられるだけでなく、年中行事と深く結びつくものがたくさんあります。

1月	小寒（しょうかん）、大寒（だいかん）	2月	立春（りっしゅん）、雨水（うすい）
3月	啓蟄（けいちつ）、春分（しゅんぶん）	4月	清明（せいめい）、穀雨（こくう）
5月	立夏（りっか）、小満（しょうまん）	6月	芒種（ぼうしゅ）、夏至（げし）
7月	小暑（しょうしょ）、大暑（たいしょ）	8月	立秋（りっしゅう）、処暑（しよしょ）
9月	白露（はくろ）、秋分（しゅうぶん）	10月	寒露（かんろ）、霜降（そうこう）
11月	立冬（りっとう）、小雪（しょうせつ）	12月	大雪（たいせつ）、冬至（とうじ）

以上が二十四節気です。これらは四季の変化がはっきりしている日本の気候と、農業や生活文化が結びついたものです。興味のある人は、それぞれの意味を調べてみてはどうでしょうか。

来週の予定

月 日	曜日	給食	おもな行事
12月10日	月	○	放送朝会 集金日
12月11日	火	○	カウンセラー来校
12月12日	水	○	ノ一部活デー 計算力テストプレテスト（放課後） 15:15 下校
12月13日	木	○	
12月14日	金	○	計算力テスト（6校時）
12月15日	土	△	生徒会長サミット実践報告会準備会（9:00～）